

2月16日 本日の為替見直し

ポイント

昨日のベニゼロス・ギリシャ財務相の発言と、パプリアス・ギリシャ大統領の発言は衝撃的で、ギリシャの苦悩がうかがわれる。

ベニゼロス財務相は、「欧州の大国がギリシャをユーロ圏から追い出す考えをもてあそび、火遊びをしている、松明もあればマッチもあるが、リスクはどちらも同じように大きい。ユーロ圏には我々の存在を望まない輩が大勢おり、ギリシャは次から次と新たな条件を突き付けられていると憤慨している」

パプリアス大統領は、「ショイブレ独財務相の我が国への屈辱は容認できない、ギリシャをあざ笑うショイブレ氏は何者なのか、われわれは常に自由や国家だけでなく、欧州全体の秩序を守ることに誇りを持ってきた」。

昨日の海外市場では、ギリシャ第2次支援は、3月2日のEU首脳会談まで持ち越し？ いや、4月のギリシャ総選挙まで決定されないのではとの思惑が広まり、一部ではメルケル政権はギリシャが支払不能に陥るのを回避できないとあきらめているとのウワサも流れが、ザイベルト独政府報道官は、市場に流れていたウワサを否定した。

ベニゼロス財務相は「ギリシャは第2次支援の要求な前提条項を全て満たした、次回会合で支援が承認されると信じている」と発言、ユンケル議長も「20日のユーロ圏財務相会合で、必要な決定を下せると確信」と言っているが、過去の経緯を考えるとふたを開けてみないと、何とも言いようがない。

特に気になるのは、今回最後まで誓約書の署名を拒否していた、ギリシャのサマラス党首(ND)が、次回の選挙で支持率が高くなっているとのことで、ギリシャ第2次支援の合意を選挙後に先延ばしている可能性もあり、独ウエルト紙によれば、ユーロ圏の一部は3月20日の国債償還が実行できるように、つなぎ融資の提供を提案しているとも言われている。

それでもEURUSDは急落することはなく、前日比0.51%の下落に止まっている。これは、EURが強いと判断するのか、リスクが多く弱いと判断するのか？ センチメントはベアで、ファクトはブルになりかねない。そして、円は我が道を行くがごとしで、弱い材料が多く気になる。

今日は、特に重要な発言や発表の予定もないが、豪失業率、米新規失業保険申請件数、米住宅着工、米フィラデルフィア連銀系巨漢指数が注目されていつ。

本日の重要な経済指標 発言・その他

◎発言・その他

18:00 ECB 月報

18:30 スペイン国債入札

23:00 バーナンキ FRB 議長講演(地域銀行)

欧州会議本会議(仏ストラスブール、最終日)

OECD、競争に関するグローバルフォーラム(パリ、17日まで)

◎注目の経済指標

9:30 豪1月失業率

22:30 米新失業保険申請件数

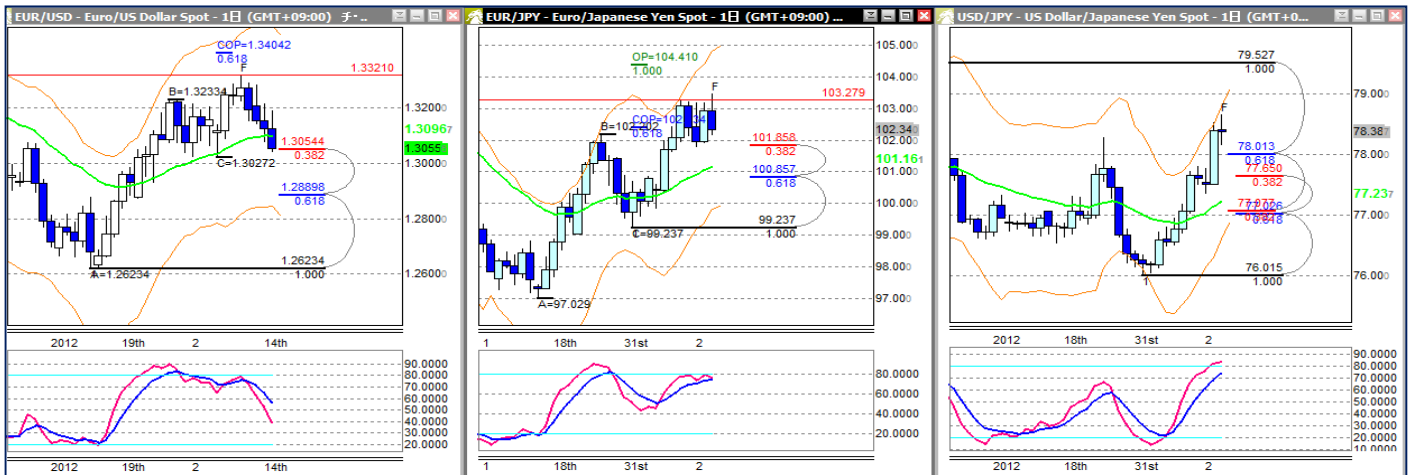
22:30 米住宅着工件数、建設許可件数

0:00 米フィラデルフィア連銀景況指数

本日の主な経済指標と発表予定

9:00	AUD 2月 消費者インフレ期待=予想 1月 2.8%
9:00	NZD 2月 消費者信頼感指数=前月比予想 1月 7.1%・116.1
9:30	AUD 第4四半期 NAB 企業景況感=予想 前回-4
9:30	AUD 1月 失業率=予想 5.3% 12月 5.2%、雇用者数変化=予想 10000人 12月-29300人、労働参加率=予想 65.3% 1月 65.2%
18:00	EUR ECB 月次報告書
22:30	CAD 12月 製造業売上高=前月比予想 0.5% 11月 2.0%
22:30	USD 1月 生産者物価指数=前月比予想 0.3% 12月-0.1%、前年比予想 4.1% 12月 4.8%、コア前月比予想 12月 0.3%、コア前年比予想 12月 3.0%
22:30	USD 週間新失業保険申請件数=予想 36.5万件 前回 35.8万件
22:30	USD 1月 住宅着工件数=予想 67.5万件・2.7% 12月 65.7万件・-4.1%、建設許可件数=予想 68万件・1.3% 12月 67.9万件・-0.1%
0:00	USD 2月 フィラデルフィア連銀景況指数:業況指数=予想 1月、新規受注=1月 49.7、従業員数=1月 19.1、支払価格=1月 52.7

EURUSD・EURJPY・USDJPY のマーケット・レベル



EURUSD(日足) = 25 日指数移動平均線は 1.3097、この線を割り込んで終了した。DOPup=1.3500、DOPdn=1.2844。スロー・ストキャスティックは%K=38.42、%D=55.95、売りを継続し、ベースはニュートラルゾーンに近い。上値のポイントは 1.3200、1.3321、下値のポイントは 1.3027、1.2890。予想レンジは 1.3020 ~ 1.3150。

EURJPY(日足) = 25 日指数移行平均線は 101.16、この線を下限に上昇トレンドが続いている。DOPup=104.82、DOPdn=99.80。スロー・ストキャスティックは%K=75.41、%D=74.12、買いを継続しているが売りへ変化の兆しもあり、ベースは買われ過ぎゾーンに近い。上値のポイントは 103.30、104.41、下値のポイントは 101.85、100.86。予想レンジは 100.85~103.00。

USDJPY(日足) = 25 日指数移動平均線は 77.23、この線を下限に上昇トレンドが続いている。DOPup=78.80、DOPdn=76.60。スロー・ストキャスティックは%K=82.17、%D=74.01 で、買いを継続しているが売りへ変化する兆しもあり、ベース買われ過ぎゾーンに近い。上値のポイントは 78.80、79.00、下値のポイントは 78.01、77.65。予想レンジは 78.00~79.00。

本日のCFD見通し Spot.WTIとSpot.Goldのマーケット・レベル

ポイント

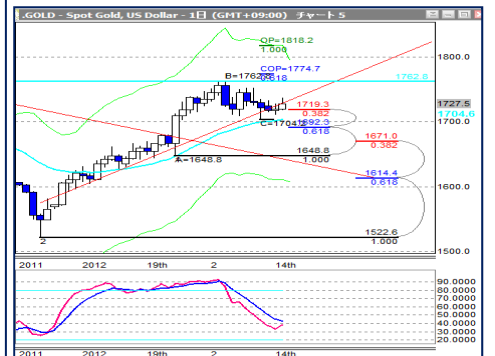
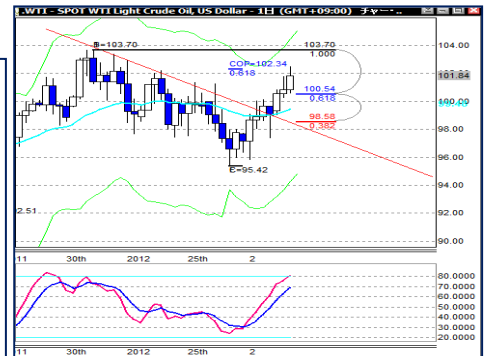
イラン国営 TV がイランは欧州 6 カ国の原油輸出を停止したとの報道に急騰した原油価格も、ファルス通信は、輸出停止ではなく、警告を与えただけとのことで値を下げたが、引き続きイラン情勢が大きな不安要因として残る。在庫統計では原油在庫が予想に反して減少したが、大きなインパクトはなかった。ギリシャ第 2 次支援を巡るリスクオフの流れにも堅調に推移しており、暫くは安定した上昇傾向が続く可能性も出ている。

◎Spot.WTI(Light Crude Oil)

EMA は 99.48 で引き続き上昇トレンドが続き、ストキャスティクスも買いを継続しており、先の高値 103.70 を超えることができるかが重要となっている。

◎Spot.Gold

EMA は 1704.6 で引き続き上昇トレンドが続き、ストキャスティクスも売りから買いへ変化する兆しがみられる。EURUSD の下落にの底堅く推移しており、ギリシャ関連の材料も金価格の支援材料と見られている。最近では 25 日 EMA と先の高値 1762.8 のレンジでの推移がなく、このレンジを抜け出すと流れが加速する可能性がある。



Spot.WTI(Light Crude Oil)(.WTI 日足) = 25 日指数移動平均線は、99.48 で上昇トレンドが続いている。DOPup=104.49、DOPdn=94.28。スロー・ストキャスティックは%K=81.08、%D=69.38 で、買いを継続し、ベースは買われ過ぎゾーンに近い。上値のポイントは 102.34、103.70、下値のポイントは 100.54、98.58。レンジ予想は 100.50 から 103.70。

Spot.Gold(.GOLD 日足) = 25 日指数移行平均線は、1704.6、この線を下限に上昇トレンドが続いている。DOPup=1817.79、DOPdn=1610.71。スロー・ストキャスティックは%K=38.27、%D=42.56 で、売りを継続しているが買いに変化する兆しもあり、ベースはニュートラルゾーンに近い。上値のポイントは 1762.8、1774.7、下値のポイントは 1704.2、1692.3。レンジ予想は 1700.00~1750.00。

前日の海外市場の動き

NZ と豪の経済指標は強く、日経平均も強く、朝からリスクオンの流れに、昨日から始まった円売りの流れが一時強まっていた。欧州市場では、独・ユーロ圏の第4四半期 GDP が予想を下回るマイナス幅となったが、影響もなく、ポルトガル債の入札は順調に消化したが、ギリシャ連立与党が誓約書の署名を拒否し(最終的には提出)、20日のユーロ圏財務相会合でギリシャ第2次支援が実施可能かと思われていたが、第2次ギリシャ救済プログラムを選挙後まで遅らせる可能性があつた報道に、リスクオフの流れが強まり、EURUSD は売りへ変化、ギリシャ連立与党が誓約書をトロイカに提出したにもかかわらず、ギリシャ救済パッケージの実施が4月の選挙以降に持ち越されるとの観測や、ベニゼロス・ギリシャ財務相やパプリアス・ギリシャ大統領のドイツ財務相などへの非難する発言もあり、「ギリシャが第2次支援の事前要求を全て満たした」とのギリシャ財務相の発言にも、EURの上値は重かった。FOMCは予想通りの内容で市場へのインパクトはなかった。

- ◎NZ 小売売上高は、前期比2.2%と予想を大幅に上回り、NZDUSD は上昇、NZDJPY は一時2010年8月以来の高値に上昇
- ◎豪消費者信頼感、前月比4.2%と前回より大幅に上昇、3カ月ぶりの高水準で、AUD 買いの材料になる
- ◎日経平均株価、208.27+2.3%上昇、今年最大の上げ幅となり円安傾向が続く
- ◎周小川中国人民銀行総裁、ユーロ圏債務危機の解決に向け我々は関与する意向 → EUR 買いの材料となる
- ◎独第4四半期 GDP は、前期比-0.2%と予想を上回るがマイナス成長となった
- ◎ポルトガル債入札は、平均落札利回りは前回より低下、EURUSD の上昇力は鈍い
- ◎ユーロ圏第4四半期 GDP は、前期比-0.3%と予想を上回るがマイナス成長となった
- ◎英失業率保険申請件数が増加、英国マイナス成長で雇用者が減少
- ◎ギリシャ第2次支援の決定が遅れるとのウワサ、20日ユーロ圏財務相会合から、4月のギリシャ総選挙まで延期のウワサに EUR は下落
- ◎米 NY 連銀製造業景気指数は、19.53 と予想を大幅に上回り、米鉱工業生産は、0.0%と予想を大幅に下回る
- ◎ニゼロス・ギリシャ財務相やパプリアス・ギリシャ大統領は、ユーロ圏財務相やギリシャ財務相を非難
- ◎ニゼロス・ギリシャ財務相は、ギリシャが第2次支援の事前要求を全てみ満たした → EUR の買いも弱い

USDJPY アジア市場は、78.42 で取引が始まり、大枠 78.40~50 の狭い取引から、仲値では一時 78.66 まで上昇したが、大枠 78.40~55 のレンジで取引が続いた。欧州市場にはいってもその流れが続いたが、ファンド筋の買いに 78.60 近くまで上昇、ギリシャ支援の先送り懸念に 78.30 台まで値を下げた。米国市場に入ってもリスクオンの流れに円買いが強く、米国株は弱く米鉱工業生産が弱く、78.20 割れまで下落、大枠 78.20~50 のレンジで取引が続いた。

EURUSD アジア市場では、1.3132 で取引が始まり、大枠 1.3110~35 の狭いレンジから、堅調なアジア株と中国や BRICS 諸国が積極的に欧州決支援を行うとの報道に、1.3150 台を超え 1.3184 まで徐々に底値を切り上げた。欧州市場に入り、独 GDP のマイナス幅が予想より低く一時 1.3190 近くまで上昇したが、売り圧力は強く 1.3160 を割り込み、欧州株高+ポルトガル債入札は前回より利回りは低下、ユーロ圏 GDP のマイナス幅は予想より低かったが、1.3180 の壁は厚く徐々に値を下げ、ギリシャ支援の先送り懸念にリスクオフの流れが強まり、1.3060 台まで急落となった。米国市場に入っても、強い NY 連銀製造業景気指数にも反応は鈍く、EUR 売りが続き、米鉱工業生産が弱く一時 1.3100 台まで値を戻したが、ギリシャ第2次支援が決まらずデフォルト懸念が広まる中で、米国株も弱く、一時 1.3050 割れまで続落となった。

AUDUSD アジア市場では、1.0691 で取引が始まり、予想を上回る消費者信頼感にも上値は重く、大枠 1.0665~70 の狭いレンジで取引が続いたが、堅調なアジア株と中国や BRICS 諸国が積極的に欧州決支援を行うとの報道に、前日の高値 1.0737 を超え、1.0750 近くまで上昇した。欧州市場では、一時 1.0730 台まで値を下げたが、欧州株は強く、1.0775 近くまで上昇したが、利食いの売りに上値は重く、ギリシャ支援の先送り懸念にリスクオフの流れが強まると、1.0720 割れまで値を下げた。米国市場に入っても、上値は重く、EURUSD が続落するなかで、1.0710 割れまで下落、一時 1.0740 台まで値を戻したが、終盤にかけては 1.07 を割り込み 1.0680 近くまで続落している。

金・原油価格

◎Spot.WTI (Light Crude Oil)

アジア市場は、100.96 で取引が始まり、一時 100.60 まで値を下げたが、米株先物が上昇、日本株も大きく上昇し、リスクオンの流れに 101.73 まで上昇した。欧州市場は、大枠 101.40~70 のレンジから、イランが欧州 6カ国の原油輸出を停止との報道に 102.49 まで急伸、イラン石油省が原油輸出停止の報道を否定し、101.30 近くまで下落、ギリシャ発のリスクオフの流れの影響も見られず、大枠 101.30~90 のレンジで推移した。米国市場に入ってもレンジ内での取引が続き、EIA 週間石油在庫統計の発表後にも、大枠 101.20~90 のレンジで激しく上下、終盤にかけては 102 台まで値を戻している。

◎Spot.Gold

アジア市場は、1719.8 で取引が始まり、一時 1719 近くまで値を下げたが、米株先物も強く日本株も大きく上昇し、リスクオンの流れに 1727.2 まで上昇した。欧州市場は、一時 1723 台まで値を下げたが、中国の欧州支援発言や堅調な欧州株に、ギリシャ発のリスクオフの流れの影響も見られず、1730 台を回復、大枠 1723~1732 のレンジで売り買いが交錯した。米国市場に入ると、予想を上回る米鉱工業生産に一時 1736.9 まで上昇、ドル高の流れに 1720 近くまで値を下げ、終盤にかけては 1729 近くまで値を戻している。

前日の主な発言・出来事

	欧州関連
	スペインの銀行 ＝◎ECBからの借入額は1月1332億ユーロ、12月693億ユーロと2倍
	ムーディーズ ＝◎オーストリアの格付け見直しをネガティブに変更 ◎国家財政が2008年以降は悪化し、銀行が新たな救済策を求めたら「Aaa」格付けを引き下げる可能性
	ポルトガル債入札 ＝◎3億ユーロ91日物、利回り3.845%(1日4.068%)、応札倍率10.30倍。12億ユーロ182日物、利回り4.332%、応札倍率2.53倍。15億ユーロ371日物、利回り4.943%、落札倍率2.02倍
	モンティ・イタリア首相(欧州議会) ＝◎ソブリン債危機の渦中にあり欧州連合(EU)内では緊張と憤りが高まりEUの解体を引き起こしかねない
	ショイブレ独財務相 ＝◎ユーロ圏はギリシャ救済が失敗に終わる可能性に備え2年間対応を進めてきた ◎イタリア・スペインが大きく前進準備が今までより整っている ◎EU各国は安定した同盟を築くための財政協定で合意している

	ギリシャ関連
	14日夜協議の各国財務省当局者(FT紙) ＝◎ユーロ・ワーキング・グループ配布書類では、ギリシャ債務再編は17日も開始され月末に完了の公算あり ◎3月2日のEU首脳会議まで先送りされる可能性もある ◎ギリシャ第2次支援は先にギリシャに要求した事前行動と、欧州指導者が同意した場合に限る
	アスムセン ECB 理事 ＝◎ECBが保有するギリシャ債で利益が出ればユーロ圏各国政府に利益を移管して、ギリシャ支援に使うことができる
	ギリシャ主要2政党党首 ＝◎財政緊縮策を約束する書面を15日に提出
	ショイブレ独財務相 ＝◎ユーロ圏財務相会合が延期となったがドラマチックなことではない
	ギリシャのパパンドレウ PASOK 党首とサマラス ND 党首 ＝◎誓約書をトロイカへ送付
	フィンランドにギリシャ銀行が担保を差し出す ＝◎ギリシャ第2次支援でフィンランドが要求している担保を、ギリシャ政府ではなく銀行が差し出すことで合意
	独財務省報道官 ＝◎ギリシャもアイルランドのように全党一致が必要 ◎ユーロ圏はギリシャに選挙後の政策確約を要求
	複数の関係者(ロイター) ＝◎第2次ギリシャ救済プログラムを選挙後まで遅らせる可能性がある
	ザイベルト独政府報道官 ＝◎メルケル政権はギリシャが支払不能に陥るのを回避できないとあきらめてはいない ◎ウワサを否定し、ギリシャを現在の危機から引き戻す現実可能な方法を模索している
	ギリシャ救済パッケージの実施が4月の選挙以降に持ち越される観測に EUR 売りが強まる
	ベニゼロス・ギリシャ財務相 ＝◎欧州の大国がギリシャをユーロ圏から追い出す考えを、もてあそび火遊びをしている ◎ギリシャは次から次と新たな条件を突き付けられていると憤慨している ◎ユーロ圏には我々の存在を望まない輩が大勢いる ◎たいまつもあればマッチもあるが、リスクはどちらも同じように大きい
	ギリシャ・新民主主義党(ND)のサマラス党首 ＝誓約書の署名を拒否し、誓約書の提出が遅れたと言われている。
	関係者(独ウエルト紙) ＝ユーロ圏の一部は3月20日の国債償還が実行できるように、つなぎ融資の提供を提案
	ユンケル・ユーログループ議長 ＝◎20日のユーロ圏財務相会合で、必要な決定を下せると確信 ◎ギリシャの2つの党首から追加緊縮策実行する確約得た ◎ギリシャは3.25億ユーロの追加削減を設定 ◎更なる協議には更なる明細が必要 ◎トロイカは債務安定レポートを提出した
	ベニゼロス・ギリシャ財務相 ＝◎ギリシャは第2次支援の事前要求を全て満たした、次回会合で支援が承認されると信じている ◎ユーロ圏財務省はギリシャの社会・政治状況を懸念している
	パプリアス・ギリシャ大統領 ＝◎ショイブレ独財務相の我が国への屈辱は容認できない ◎ギリシャをあざ笑うショイブレ氏は何者なのか、われわれは常に自由や国家だけでなく、欧州全体の移住を守ることに誇りを持ってきた→15日ショイブレ独財務相はギリシャ民主主義党が支援を送らせていると非難、カンペーター独福財務相はギリシャを底なし沼と例えた。

	FOMC 議事録
	◎メンバーは追加購入には、景気見通しの悪化が必要で、景気が勢いを失うか、インフレ率が中期的に2%を下回る水準で推移する可能性が高い場合に必要となる ◎少数のメンバーは経済情勢が近い将来追加の証券購入実施を正当化し得る ◎1人を除く全員のメンバーはFRBが超緩和的な金融政策を解除する時期になった時に、利上げに続き、債券の売却を実施すべき

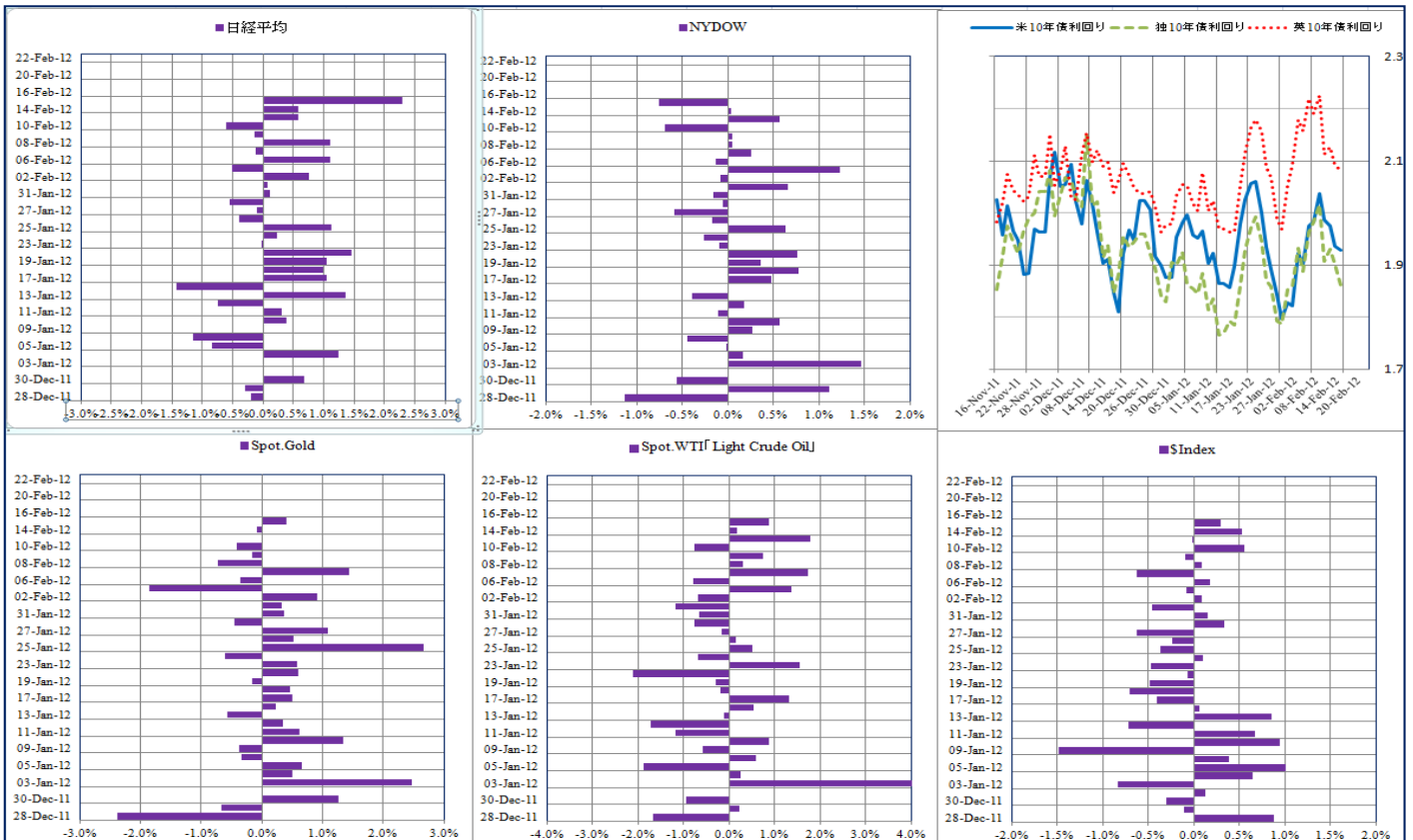
CHN	周小川中国人民銀行総裁 ＝◎ユーロ圏債務危機の解決に向け我々は関与する意向 ◎BRICS 諸国は欧州の債務危機解決支援へ向け、極めて前向きである ◎中国は中銀、政府系ファンド、中国投資国家開発銀行や輸出入銀行を通じて支援をすることができる
CHN	胡錦濤中国国家主席 ＝◎中国は欧州との協力を深める ◎中国は危機解決に向けた欧州の政策を支持する
GBP	BOE 四半期インフレ報告 ＝◎中期インフレ予想を上方修正 ◎インフレ率は2年以内に約1.8%(前回報告1.3%) ◎ユーロ圏の危機は英経済にとって相当な脅威 ◎英国の年間GDP伸び率は2年以内に約3%

GBP	キング BOE 総裁 = ◎ユーロ圏債務危機の脅威から英国の緩慢で不確実な景気回復を守る必要があれば、BOE 量的緩和策を拡大することができる ◎今年の四半期の成長率はプラスとマイナスが交錯するジグザグのパターンとなる可能性が高い ◎英景気回復は緩やかで不確実となる可能性 ◎英政府の財政引き締めとユーロ圏の危機の影響で英経済は弱い状況が続いているが、ユーロ圏が債務危機の混乱を収拾できなければ英国の成長に深刻な影響を及ぼす
USD	オバマ米大統領 = ◎給与減税の延長で合意の可能性
USD	米下院歳入委員長 = ◎議会は給与減税計画の政治計画で合意に近い
USD	フィッシャー・ダラス連銀総裁 = ◎QE3 は米金融街の幻想で実施される可能性はない、経済はFRBが1月に示した予想以上に改善 ◎雇用創出で米議会とオバマ政権が税制や規制の簡素化が必要 ◎金融緩和を実施しても何も変わらず、過剰な金融緩和はインフレ懸念をあり、一段の不安を募らせ追加の金融緩和は逆効果

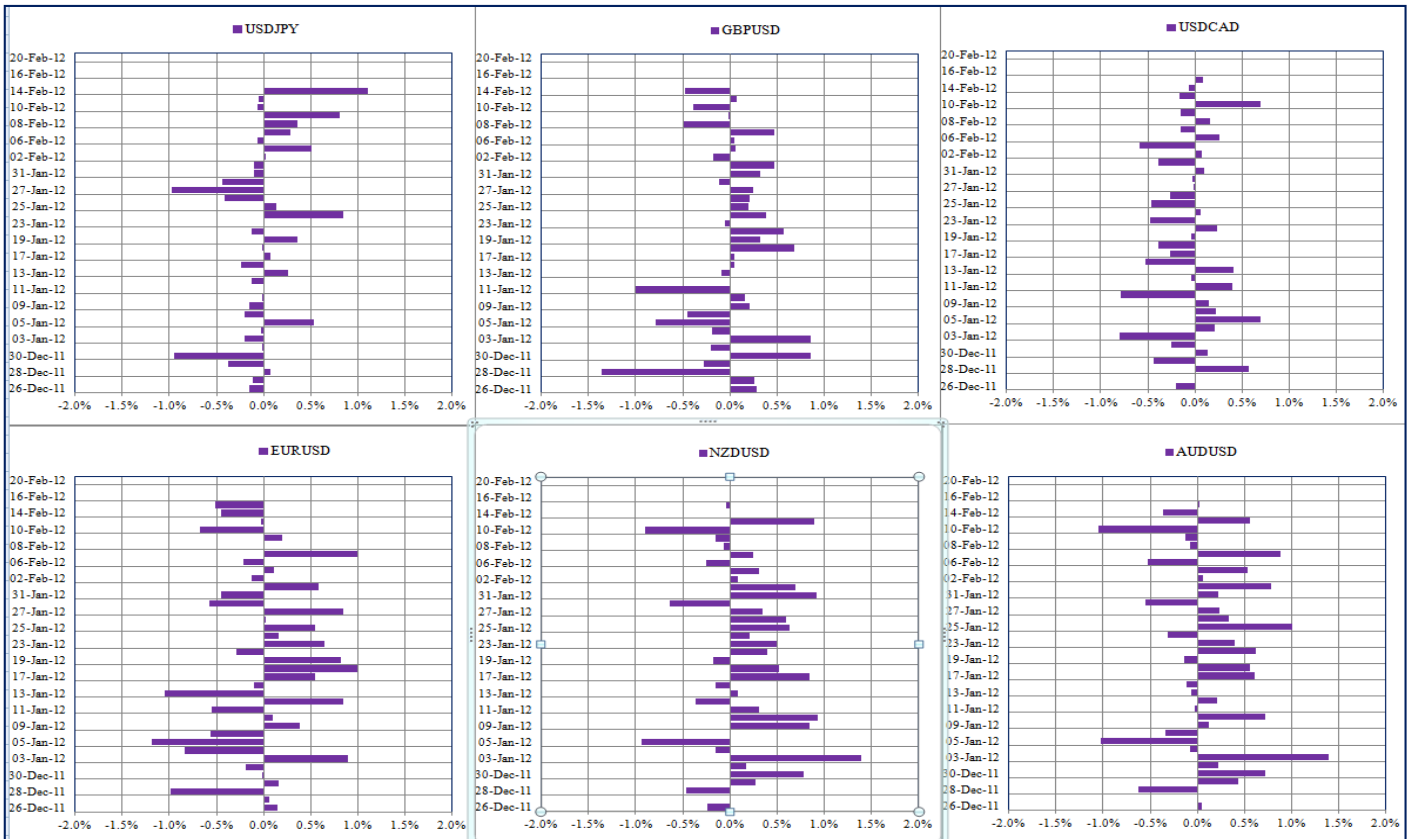
前日の経済指標と結果

6:45	NZD 第4四半期 小売売上高=前期比2.2%(予想1.2% 第3四半期2.4←2.2%)
8:30	AUD 2月 ウェストパック消費者信頼感=前月比4.2%・101.1(予想 前回2.4%・97.1)
15:00	JPY 1月 工作機械受注・確報=前年比-6.9(予想 12月-6.6%)
15:30	FFR 第4四半期 GDP・速報値=前期比-0.2%(予想-0.2% 第3四半期0.3%)、前年比1.4%(予想1.1% 第3四半期1.5%)
16:00	GER 第4四半期 GDP・速報値=前期比-0.2%(予想-0.3% 第3四半期0.6←0.5%)、前年比2.0%(予想1.8% 第3四半期2.7←2.6%) → 統計庁は貿易と個人消費者が弱く、投資、特に建設向けがプラスに寄与
18:30	GBP 12月 失業率=5.0%(予想5.0% 前回5.0%)、ILO失業率8.4%(予想8.4% 11月8.4%)、失業保険申請件数=6900人(予想3000人 前回1900←1200人) → 2010年1月以来最多。
19:00	EUR 第4四半期 GDP・速報値=前期比-0.3%(予想-0.4% 第3四半期0.1←0.2%)、前年比0.7%(予想0.7% 第3四半期1.3←1.4%)
19:00	EUR 12月 貿易収支=97億ユーロ(予想35億ユーロ 11月63←69億ユーロ)、季調済=97億ユーロ(予想45億ユーロ 11月61億ユーロ)
22:30	USD 消費者物価指数の改定値発表
22:30	USD 2月 NY 連銀製造業景気指数:景況指数=19.53(予想14.1 1月13.48) → 2010年6月以来の高水準、仕入価格=25.88(1月26.37)、新規受注=9.73(1月13.70)、雇用者数=11.76(1月12.09)
23:00	USD 12月 ネットTICフロー合計=871億ドル(予想450億ドル 11月429←486億ドル)、ネット長期TICフロー=179億ドル(予想450億ドル 前回613←598億ユーロ)
23:15	USD 1月 鉱工業生産=0.0%(予想0.7% 12月1.0←0.4%)、設備稼働率=78.5%(予想78.6% 12月78.6←78.1%)

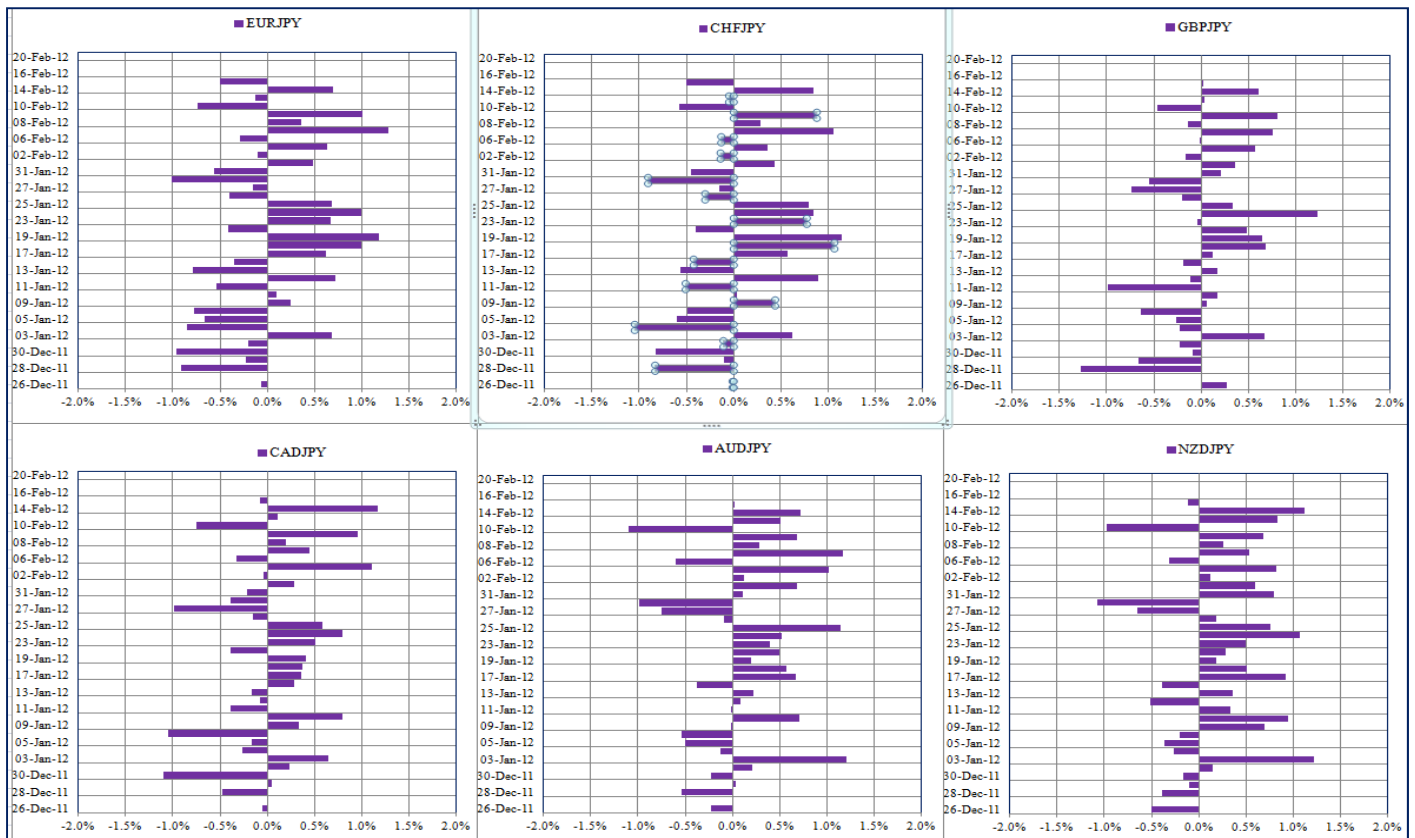
日経平均株価・NYダウ平均株価・SpotGold・SpotWTI・\$Index の(Daily 変動率)、10年債利回りのDaily 推移と比較



主要通貨の Daily 変動率 (%)



円クロスの Daily 変動率(変動率)



USD=米国、JPY=日本、GER=独、GBP=英国、CAD=カナダ、AUD=豪州、NZD=ニュージーランド、
CHF=スイス、NOK=ノルウェー、SEK=スウェーデン、CHN=中国、FFR=フランス

本レポートで言及している市場予想の出所=fx360.com,ロイター社。各国経済指標・日時の出所=fx360.com ロイター社

外国為替保証金取引(FX)及びCFDには、高いレベルのリスクが潜在しており、全てのお客様に適した投資商品とは言えません。高いレベルのレバレッジは、利益ももたらしますが、損失ももたらします。預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、損失に耐えられない金額を投資するべきではありません。過去のパフォーマンスが、必ずしも将来の結果を示唆しているわけではありません。

本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 筆者によって提供される市場に関する如何なる予測や見解についても、その正確性が検証されている訳ではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

GFT はお客様への一般的な情報として本資料を提供していますので、投資判断を行う際の詳細な独自調査に代えて本資料に依拠することはお控えください。

GFT は、本資料に含まれる情報に基づいた投資の結果として発生した損害に対して、如何なる責任も負いません。また、投資、法律、会計、税務、またはその他の専門的助言についても、一切提供することはありません。これらの専門的助言が必要な場合は、専門家にご相談ください。

同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。www.gftforex.co.jp

© 2011 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。

CD08J.005.113011